

北海道社会貢献賞の受賞を報告

～登別市民憲章推進協議会受賞報告～

9月21日(金)、北海道社会貢献賞(地域活動推進功労者)を受賞した登別市民憲章推進協議会の代表が市役所を訪れ、市長に受賞を報告しました。

同協議会は、市民憲章の啓発と、より豊かな郷土作りを目指すことを目的として、昭和46年に設立されました。

その活動の中でも『花いっぱい運動』では、町内会などを対象とした花苗無料配布(平成15年から中止)、JR幌別駅西口前と若草中央公園(平成19年から開始)の花壇づくり、希望する町内会や市内小・中学校を対象とした花壇コンクールの実施(市内小・中学校は平成15年から中止)、緑の募金活動に取り組み、その明るく豊かな活力ある地域社会づくりが認められ、昨年の『住民運動実践功労者支庁長表彰』の受賞に続き、このたびの受賞となりました。

受賞の報告を受けた上野市長は、長年の功績をたたえ、お祝いの言葉を掛けていました。



▲JR幌別駅西口前の花壇づくり



ごみ減量の大切さを学ぶ

～リサイクルまつり'07イン登別・白老～



▲クリンクルスタンプラリー

9月30日(日)、クリンクルセンターで『リサイクルまつり'07イン登別・白老』(市、白老町共催)が、多くの団体の協力を得て開催されました。

この催しは、平成12年のクリンクルセンターのオープンを契機にはじまり、今回で8回目の開催。クリンクルスタンプラリーに多くの方が参加して、景品の堆肥をもらっていたほか、ダンボールコンポスト作り講習会や環境クイズなどでごみに関する知識を身に付けていました。

このほか、イベントにはフリーマーケットも行われており、来場者は気に入ったものを購入していました。

子どもたちは、昔のあそび体験コーナーで竹とんぼやたこを作り、大空に向かって高く飛ばしたり、揚げたりして歓声を上げていました。

スポーツの秋を満喫

～市民スポーツ・健康フェスティバル～

9月30日(日)、岡志別の森運動公園と市民プールで『市民スポーツ・健康フェスティバル』(市、文化・スポーツ振興財団、北海道曹達(株)幌別工場主催)が開かれました。

この催しは、スポーツなどを通して市民の健康増進を図ることを目的に、毎年開催されているもので、今年は市民約1,400人が参加しました。

この日は、快晴に恵まれ、岡志別の森運動公園では、『市民パークゴルフ大会』『市民ソフトボール大会』『駅伝競走大会』『キンボール大会』が行われ、熱戦が繰り広げられたほか、市民プールでは、施設が無料開放され、『水中フラッグ競争』などの催し物や、保健師による健康チェック、日本工学院北海道専門学校の学生によるボランティアマッサージ体験が行われ、参加者は日ごろの疲れを癒していました。

